

令和4年度障害者(児)実態・意向調査(案) 【施設入所している方】

対象者: 18歳以上の施設入所支援利用者

カテゴリー	新規等	設問No.	調査項目	質問の意図	回答肢	備考
1 本人について		1	回答者	基本属性	1 あて名ご本人 2 ご家族の方 3 施設の職員 4 その他()	
		2	本人の年齢	基本属性	年齢()歳	
		3	年収	基本属性	1 収入はない 2 80万円未満 3 80万円以上～150万円未満 4 150万円以上～250万円未満 5 250万円以上～500万円未満 6 500万円以上～1,000万円未満 7 1,000万円以上	
		4	収入の内訳	基本属性	1 年金(障害基礎年金など) 2 工賃(福祉的就労) 3 生活保護費 4 親族の扶養又は援助 5 その他()	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
2 障害の状況について		5	該当する疾患・障害	障害の状況把握	1 肢体不自由(上肢、下肢、体幹、脳性麻痺、移動機能障害等) 2 音声・言語・そしゃく機能障害 3 視覚障害 4 聴覚・平衡機能障害 5 内部障害(心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能等) 6 知的障害 7 発達障害 8 精神障害 9 高次脳機能障害 10 難病(特定疾病) 11 その他()	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
		5-1	(問5で「7 発達障害」と回答した場合)該当する障害	障害の状況把握	1 広汎性発達障害 2 自閉症 3 注意欠陥多動性障害 4 アスペルガー症候群 5 学習障害 6 その他の発達障害 7 わからない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
		5-2	(問5で「10 難病」と回答した場合)疾病名	障害の状況把握	疾病名()	
		6	手帳の種類・等級	障害の状況把握	1 身体障害者手帳(1級 2級 3級 4級 5級 6級) 2 愛の手帳(1度 2度 3度 4度) 3 精神障害者保健福祉手帳(1級 2級 3級) 4 手帳は所持していない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
		7	家族等が障害に気づいた時期(年代)	障害に気づいた時期の把握	1 生まれたとき 2 0～5歳 3 6～17歳 4 18～29歳 5 30～39歳 6 40～49歳 7 50～59歳 8 60～64歳 9 65～69歳 10 70～74歳 11 75歳以上	

3 施設入所について	前回 No.9	8	施設の所在地域	施設所在地の把握	1 文京区内 2 東京都内(文京区以外の特別区) 3 東京都内(特別区以外) 4 関東(東京都を除く) 5 中部 6 東北 7 近畿 8 四国 9 その他()	
	前回 No.10	9	施設入所年数	施設入所年数の把握	1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満 4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上～30年未満 7 30年以上 8 わからない	
	前回 No.11	10	入所の理由	入所理由の把握	1 家族から自立するため 2 リハビリや生活面の訓練を受けるため 3 生活が保障され安心感があるため 4 家族による介助が難しくなったため 5 常時介助が必要なため 6 医療的なケアが必要なため 7 住まいに支障があったため 8 在宅福祉サービスが不十分なため 9 収入が不十分だったため 10 家族などに勧められたため 11 他施設などに勧められたため 12 その他() 13 わからない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
4 施設での生活について	前回 No.12	11	出身世帯に帰る(帰省)ときに困ること	移動時の課題把握	1 帰る手段がない、また移動が難しい 2 帰るときの介助者がいない 3 交通費などにお金がかかる 4 出身世帯の建物が障害に対応していない 5 出身世帯では十分な介助が受けられない 6 帰ったときは一人であることが多い 7 家族や親族がいない 8 緊急の場合が不安である 9 その他() 10 特になし	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
	前回 No.13	12	施設生活の満足度	満足度の把握	1 非常に満足している 2 満足している 3 普通 4 不満である 5 非常に不満である 6 わからない	
	前回 No.14 選択肢 修正	13	現在の暮らして困っていること	施設生活の課題把握	1 身の回りのことが自分では十分にできない 2 健康状態に不安がある 3 プライバシーが十分に保たれない 4 1日の生活のリズムが自由にならない 5 施設の整備に不満がある 6 仕事や訓練に不満がある 7 外出の機会が少ない 8 施設の職員の対応に不満がある 9 人間関係がうまく築けない 10 余暇活動をうまく過ごせない 11 困ったときに相談する相手がいない 12 自分の思いや考えをうまく伝えられない 13 家族とあまり会えない 14 将来の生活になんとか不安を感じる 15 その他() 16 特に困ることはない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)

前回 No.16	14	必要とする医療的ケアがあるか	医療的ケア対応 状況の把握	1 施設入所前から今に至るまで医療的ケアがある 2 施設に入所した当時は必要なかったが、今は 必要な医療的ケアがある 3 なし		
前回 No.17	15	(ある場合)医療的ケアの内容	医療的ケア対応 状況の把握	1 服薬支援 2 吸引 3 吸入・ネブライザー 4 経管栄養 5 中心静脈栄養 6 導尿 7 酸素療法 8 鼻咽頭エアウェイ 9 パルスオキシメーター 10 気管切開部の管理(「ガーゼ交換等」) 11 人工呼吸器の管理 12 その他()	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)	
前回 No.18 選択肢 修正	16	休日の過ごし方	余暇活動の把握	1 趣味や学習活動、 習い事 2 スポーツ・運動 3 ボランティア活動 4 友人・知人と会う 5 音楽、演劇、映画、スポーツ などの鑑賞 6 買い物 7 飲食店に行く 8 読書 9 旅行 10 家でくつろぐ 11 地域の行事への参加 や交流 12 近所の散歩 13 その他() 14 特に何もしない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)	
前回 No.19	17	外出の頻度	外出頻度の把握	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 あまり外出しない		
5 今後の暮らし方につ いて	前回 No.20	18	今後希望する生活	今後希望する生 活の把握	1 現在の施設で生活したい 2 施設を退所して、家族や親族と生活したい 3 施設を退所して、独立して生活したい 4 施設を退所して、グループホーム等で生活し たい 5 別の施設で暮らしたい 6 わからない	
	前回 No.20- 1	18-1	(問18で「1 現在の施設で生活した い」を選択した方へ)その理由	施設生活を希望 する理由の把握	1 他の入所者や職員との関係が良好なため 2 環境や日中活動の内容等に満足している 3 今の施設で技術や能力を身に付けたい 4 すぐに入所できるグループホームなどがない 5 在宅サービスが充実していない 6 自宅の構造が障害に対応していない 7 健康面で不安がある 8 経済的に難しい 9 家族の受け入れ体制が整っていない 10 地域で友人関係が持てるか不安である 11 その他() 12 特に理由はない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
	前回 No.20- 2	18-2	(問18で2～4を選択した方へ)どの ような暮らしをしたいか	地域生活のニー ズ把握	1 企業などで一般就労したい 2 作業所などで福祉的就労をしたい 3 福祉的就労以外の通所施設に通いたい 4 就労や通所はしないで暮らしたい 5 わからない	
	前回 No.20- 3	18-3	(問18で2～4を選択した方へ)退所 後に暮らしたい地域	地域移行後の生 活場所の把握	1 文京区内 2 現在入所している施設の近く 3 その他の地域 4 どこでも良い	

前回 No.20- 4	18-4	(問18で2~4を選択した方へ)退所後に暮らす地域に望むこと	地域移行後の要望の把握	1 医療機関が多くある 2 昼間に通所する施設がある 3 住環境が良い 4 交通の便が良い 5 長年住み慣れた地域である 6 気軽に相談できる相談機関がある 7 現在の施設から支援が受けられる 8 家族などが住んでいる 9 在宅福祉サービスが充実している 10 その他() 11 特にない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
前回 No.21 選択肢 修正	19	地域で安心して暮らすために必要な施策	地域生活のための課題把握	1 周囲の人の障害に対する理解の促進 2 医療やリハビリテーションの充実 3 幼少期・学齢期からの教育・育成の充実 4 働くための訓練・就労に向けた支援の充実 5 仕事を継続するための相談や支援 6 身近な地域で相談できる場の充実 7 訪問系サービス(居宅介護・重度訪問介護・同行援護等)の充実 8 日中活動系サービス(生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援等)の充実 9 短期入所(ショートステイ)の整備 10 意思疎通支援(手話通訳者・要約筆記者派遣)の充実 11 福祉機器・補装具などの充実 12 グループホームの整備 13 入所施設(障害者支援施設等)の整備 14 障害者向けの住まいの確保 15 居住支援の充実 16 建物・道路等のバリアフリー化 17 当事者同士で支援し合える仕組みづくり 18 趣味やスポーツ活動の充実 19 財産管理や見守り等の支援の 充実 20 経済的支援の充実 21 災害時支援の充実 22 地域交流の場の充実 23 福祉・医療・介護との連携の充実 24 福祉と教育の連携の充実 25 その他() 26 特にない	複数選択可 (5つまでに○)
6 相談や福祉の情報について	20	困ったときの相談相手	相談相手の把握	1 家族や親族 2 施設の職員 3 施設の相談窓口(第三者委員会等) 4 友人・知人 5 ピアサポーター 6 卒業した学校の教職員 7 障害等の当事者会や家族の会 8 相談支援事業所等の相談支援専門員 9 医療関係者(医師・歯科医師・看護師・医療相談員) 10 官公庁の窓口(区の障害福祉課等) 11 保健サービスセンター 12 障害者基幹相談支援センター 13 地域生活支援拠点(区の生活あんしん拠点等) 14 社会福祉協議会 15 インターネット等の情報 16 その他() 17 相談する相手はいない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)

7 権利擁護・差別解消 について	前回 No.23	21	福祉の情報の入手先	情報入手先の把握	1 家族や親族 2 相談支援専門員 3 知人・友人 4 官公庁の広報紙 5 官公庁のホームページ 6 官公庁の窓口(区の障害福祉課等) 7 保健サービスセンター 8 テレビ・ラジオ 9 インターネット 10 新聞・書籍 11 障害等の当事者会や家族の会 12 医療機関 13 施設の職員 14 その他() 15 特にない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
	新規	22	成年後見制度・地域福祉権利擁護 事業の認知度	成年後見制度等 の認知度の把握	【成年後見制度について】 1 「成年後見制度」は、判断能力が不十分な方の権利や財産を守る制度である 2 「成年後見制度」には、本人の判断能力の程度により、「後見」、「保佐」、「補助」の3種類がある 3 「成年後見制度」には、将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある 4 「成年後見制度」という言葉は知っている 5 内容も言葉も知らない 【地域福祉権利擁護事業について】 1 「地域福祉権利擁護事業」は、判断能力が不十分な方の契約に基づく福祉サービスの利用援助等のことである 2 「地域福祉権利擁護事業」の内容として、「福祉サービスの利用援助」、「日常的金銭管理サービス」、「重要書類等預かりサービス」がある 3 「地域福祉権利擁護事業」は、社会福祉協議会と契約を結ぶことで受けられる支援である 4 「地域福祉権利擁護事業」という言葉は知っている 5 内容も言葉も知らない	それぞれに○
	新規	23	地域で障害者への差別や合理的配慮の不提供を感じる場面	障害理解の現状把握	1 家 2 職場 3 通所・入所施設 4 お店などの民間事業者 5 住んでいる地域や住民 6 公共施設 7 区役所などの行政機関 8 医療機関 9 交通機関 10 保育園、幼稚園、学校 11 特に感じたことはない 12 その他()	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
	新規	24	地域(区役所、店舗、住民等)に求める合理的配慮	障害理解への要望把握	自由記述()	

	前回 No.24	25	障害者の差別解消をすすめていくために必要なこと	障害理解への要望把握	1 障害者差別に関する相談・紛争解決の体制整備 2 障害者差別解消に向けた取組に関わる情報の提供・発信 3 障害者差別解消法に係るセミナー・研修等の開催 4 障害者差別解消法の趣旨や障害理解に関するリーフレット等の発行 5 障害者作品展や障害者と交流するイベントの開催 6 地域や学校等で交流の機会を増やすこと 7 地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと 8 学校や生涯学習での障害に関する教育や情報 9 障害についての講演会や疑似体験会の開催 10 障害者の一般就労の促進 11 ヘルプマーク・ヘルプカードの周知・啓発 12 その他() 13 特にない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
	前回 No.25	26	合理的配慮の提供を進めるために必要なこと	障害理解への要望把握	1 合理的配慮に関する講演・セミナーの開催 2 合理的配慮事例の周知・啓発 3 筆談、読み上げ、手話など障害の特性に応じたコミュニケーション対応 4 バリアフリー化や情報保障のための機器の導入 5 障害当事者等を講師とした研修・講演 6 民間事業者等に対して合理的配慮の提供を支援する助成 7 その他() 8 特にない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
8 感染症について	新規	27	感染症発生時の困りごと	コロナ禍の影響を把握	1 外出の機会が減った 2 身体的距離を確保することが難しい 3 感染症への不安を感じた 4 手洗いやうがい等の感染症対策をとることが難しい 5 通所施設等での感染症発生による閉鎖のため、日中の活動場所がない 6 感染症にかかったり、濃厚接触者になった場合の自宅待機が難しい 7 マスクの着用が難しい 8 マスクの着用により、コミュニケーションがとりにくい 9 オンライン化への対応に苦労した 10 その他() 11 特にない	複数選択可 (あてはまるものすべてに○)
自由意見	前回 No.26	28	意見・要望			